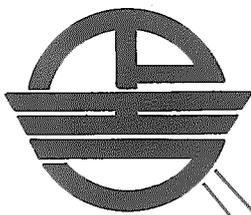




成人式 (町中央公民館前にて)

サザンカの花のごとく、すばらしい人生の華を  
 咲かせるスタート……。



広報 **あいら**

No. 191号 昭和55年1月15日発行

……おもな内容……

- 新年を迎え……………2ページ
- 議会関係・優秀作文……………3ページ
- 財政事情……………4～5ページ
- 火の用心……………6ページ
- 出初式・省エネルギー……………7ページ
- 成人式……………8ページ
- 人権擁護委員……………9ページ
- タバコは町の貴重な財源……………10ページ
- 上名にテレビアンテナ完成……………11ページ
- お知らせ……………12ページ

町の人口動態

(12月31日現在)〔( )内は前月比〕

世帯数	10,308戸 (+21戸)
人 男	14,901人 (+39人)
人 女	16,450人 (+40人)
口 計	31,351人 (+79人)
12月の	出生 39人
	死亡 27人
	転入 119人
	転出 101人

発行 鹿児島県始良町  
 編集 総務課  
 ☎ 899-54 電 09956 ⑥ 3111  
 鹿児島県始良郡始良町宮島町25番地

梅木逸郎

町の終ったら古鐘を鳴らして、夏風や矢ノに吹かすし。

# 飛躍的發展をめざす

## 基本構想で難局面を打開

### 町長 岩根清春



致したいと思います。

××××××××××××××××××

低迷する日本経済の中で地方自治体の行財政の運営は極めて難しい局面に遭遇致しております。

議会議員の方々、町民各位のご指導ご協力をいただきまして、局面を打開して前進を志したい覚悟であります。昨年十二月末現在での

始良町の人口は、男一四、九〇一人、女一六、四五〇人、計三一、三五一一人、世帯数一〇、三〇八戸に達しました。

この推移では、発展の様相を示しております。しかしながら「人間愛あふれる、豊かで、活力あるみどりのまち」づくりには、幾多の難問もかゝっております。

町では、いま次の諸点について将来、本町の飛躍的發展をきずくための基本構想を策定中であります。

その基本構想の概要は、

- 一、住みよいまち「都市基盤の整備」①土地利用 ②通信 ③道路
- ④住宅 ⑤上水道 ⑥公園緑地・

- 墓園 ⑦清掃 ⑧下水道 ⑨公害防止 ⑩交通安全 ⑪消防・災害

- 二、活力のあるまち「産業経済の振興」①農林水産業 ②商業・サービス業 ③工業 ④観光・レクリエーション

- 三、ゆたかな心の育つまち「教育文化の向上」①幼児教育 ②義務教育 ③社会教育 ⑤文化

- 四、しあわせのあるまち「社会福祉の充実」①老人 ②児童・母子福祉 ③心身障害者 ④生活保護

これらの諸項目の振興策、つまり構想を推進するためには、行政体制の整備（行政組織の改善・合理化・能率化）と財政の効率的運用（行政需要の適確な判断、歳入の正確な確保等）が必要であることは論をまたないところであります。

この基本構想は、これから諮問機関を経て、三月議案に提案の運びとなります。

××××××××××××××××××

新しく転入してこられた町民の

かたがたからの要望も多く寄せられております。商工業・農林漁業を営むかたがたとのコミュニケーション、福祉に欠ける問題点の解決など、福祉の向上をめざして十分話し合い、喜びも、悲しみもともにして、お互いの幸せのため頑張りたいと思います。

××××××××××××××××××

私の友人の一人が「正月といっても、ただの一日ではないか。餅を食うのがほかの一日と違っていろいろぐらいいだ」といった事がありました。

「ひねくれたことをいうなよ」とたしなめましたけれども、もし新年というものが、われわれの人生にないならば、それはじつに、単調で変化のないあきあきしたものであろうと考えられることです

一年に正月があり、それのおわりに暮の行事があることは、その間のいろいろな行事をふくめて、人生の行程に変化をもたらし、人から倦怠とか単調とかをなくす上に、非常に役立つものであるとあらためて考えさせられるのであります。いま私の胸の中にむかし村童のころの正月が思い起こされてまいります。

幼な友達の顔があらわれ、胸の痛むような、なつかしい交友の感情、過ぎし日の旧台湾・旧満州で

の正月、友と隣人と交流の中で、「愛」を感じ、酒盃を交わし、肩を組み合って信頼を深め、詩ありロマンありし正月、人生の節目だったと考えます。

これは昨年十二月の朝日新聞の「天声人語」に記載された記事です。

××××××××××××××××××

劇作家の菊田一夫は十九歳のころ、窮乏の中で死を決意し、海へ行った。しかし海にとびこめず、師の萩原朔太郎をたずねる。朔太郎はギターをひきながら「人生は苦しくとも生きていくんだな」と励ます。詩人サトウハチローも、黙って米二升とたくあん二本を出してくれた。たくあんをかじりながら、菊田は「どんなに苦しくても明日になればなんとかなる。今日、壁につきあたっても、明日は壁のどこかにすき間がみつかるかもしれない」と思いはじめる。それが彼の人生訓になった。とありました。

いまの青少年がもつ正月の感じ方は、知りようがありませんが、「お互いに信頼・隣人愛を育てる機会」ともなればと念ずる次第であります。

新春雑感を含めてのべましたが終りに町民皆様のご健康と万福を祈ります。

祈ります。

「一年の計は元旦にあり」  
われわれも古人の諺にらしい、大いに奮発して一層あらたなる生活の設計をたて、勇往邁進、意義ある一年を送り来年の新年にはよりよい新しい春を迎えるよう努力

輝かしい新年を迎えまして、ご同慶にたえません。こゝに心をこめて、謹んで町民皆様のご健康とご幸福をお祝い申し上げます。すぎ去った一年は実に夢のようなものでした。その夢のような一年の間には、いろいろの事件が種々の形となってあらわれました。私にとりまして、また町長として、反省すべき事が数多くございました。一陽来福とともに、天地の万物はみなあらたになりました。山も川も、草も木も総てが陽春の気に満ちています。

輝かしい新年を迎えまして、ご同慶にたえません。こゝに心をこめて、謹んで町民皆様のご健康とご幸福をお祝い申し上げます。すぎ去った一年は実に夢のようなものでした。その夢のような一年の間には、いろいろの事件が種々の形となってあらわれました。私にとりまして、また町長として、反省すべき事が数多くございました。一陽来福とともに、天地の万物はみなあらたになりました。山も川も、草も木も総てが陽春の気に満ちています。

# 育英基金の設置を条例化 始良小学校誕生

第四回町議会定例会は、育英基金の設置及び運用に関する条例制定など二十一件の議案について十一月十七日から十二月二十二日までの六日間の会期で慎重審議され、すべての議案が原案どおり可決されました。

可決された議案の主なものとは次のとおりです。

町育英事業基金の設置及び運用に関する条例

昭和五十四年度町一般会計補正予算

教育の機会均等と人材の育成を図るため、人物・学業ともに優秀でありながら経済的理由により就学困難な学生・生徒の経済的援助を目的として今年条例化したものです。この条例の基金運用は昭和三十二年にすでに条例化している町育英資金貸付条例に基づいて活用されるもので、育英資金の額は月額五千元以内とし正規の修業期間貸付することができます。

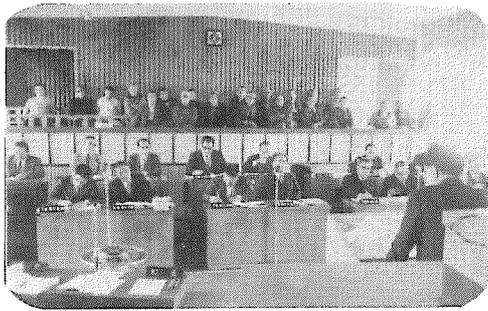
## 町立学校設置条例の一部改正

新設される小学校の名称を今まで仮称始良小学校とよんでいましたが、今回の議会で新設小学校の名称が始良小学校と決まり正式に誕生したものです。

## 町職員定数条例の一部改正

人口増加に伴ない事務量等も大幅に増加したため二四人の定数を拡大したものです。

その内訳は、町長の事務部局の職員を一人、教育委員会の事務部局の職員を一人、選挙管理委員会の事務部局職員を一人、学校の職員を九人それぞれ定数拡大したものです。



答弁する町長

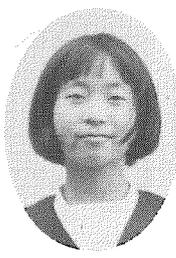
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ一億三千六十五万円を追加し、四十八億二千四百十九万円となりました。

補正された主なものとは、民生費の五千二百九十五万円、その内訳は、社会福祉費に四千三百八十六万円、児童福祉費に九百九十九万円、育英基金のための諸支出金として三千九百八十五万円、教育費に一千五百二十二万円、土木費の道路橋梁費に一千三百五十六万円等が主なものでした。

## 作文

### 一しゅんの出来事

帖佐小四年 海江田玲子さん



このほど行われた県児童生徒作文コンクールで、県下の学校から寄せられた多くの作品の中から、厳しい審査の結果特選として選ばれた作文です。

「玲子」

父は、左手首をぎゅっとにぎった。土曜日の午後で、天気もよかったせいとか、おどろくほどの人出である。つり人たちの間かくは、一メートルもないくらいだ。父が、しかたなく、

「あそここの砂の山の所でやるか。」

と言って、やっと場所が決まった。

そこは、セメント工用の砂が、高さ四メートルほど、山のようにつまれていて、岸べきにせまっていた。岸べきから海面までは、二メートルもあり、足場が悪かった。砂に足をつっこみながら魚つりをしていると、左となりで、おじさんが、うち園ぐらいの子どもを二人つれて、同じようにつり始めた。おばさんも、ちょっと来て見ていたが、いつの間にか、どこかへ行ってしまっていた。

すると、とつ然、後ろの方でガガガギーと、ブルドザーのきしむ音がしたかと思う間もなく、つり人の足は、砂に取られて目の前に、おじさんと二人の子どもが、ばらばらになって深い海に落ちてしまった。わたしの足も、ガクツとなったしゅん間

「うね。」

と、まゆげをひきつらせ、手を大きくふって、さっきのおばさんがかけよってきた。

おじさんのすがたは、すぐ見うて、

「子どもが二人つ、子どもが二人つ。」

と、水をかきながら大声でさがしている。

すると、もう一人の男の人がすばやく海に足からとびこんだ。男の子の頭が見えた。おじさんがすぐにだき上げて、

「もう一人、もう一人だ。」

と必死にさげぶ。

「みなさん、手をかしてください。」

おばさんは、手を口のわきに当てて泣きさげのように、みんなにおねがいをしている。

女の子のすがたは、なかなか見えない。十秒ぐらいたったらうか、やっとかみの毛がくらげのようにふわふわとういてきた。

おじさんたちは、一人ずつ子どもをかかえて岸からのつりざおに、しっかりとつかまった。

子どもたちは、助け上げられる時に、

「こわいよう、こわいよう。」

と、急に泣きだした。

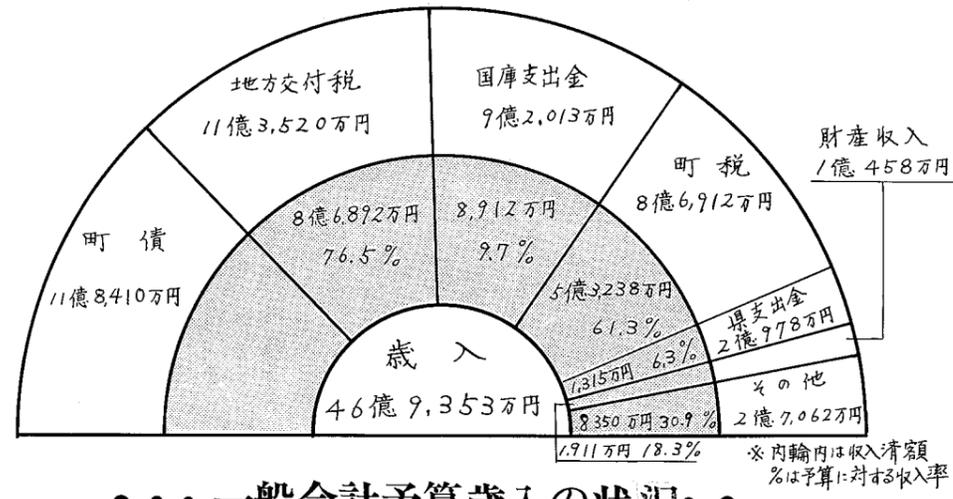
よかった。助かったんだと

思った。

ほんの一しゅんの出来事であった。

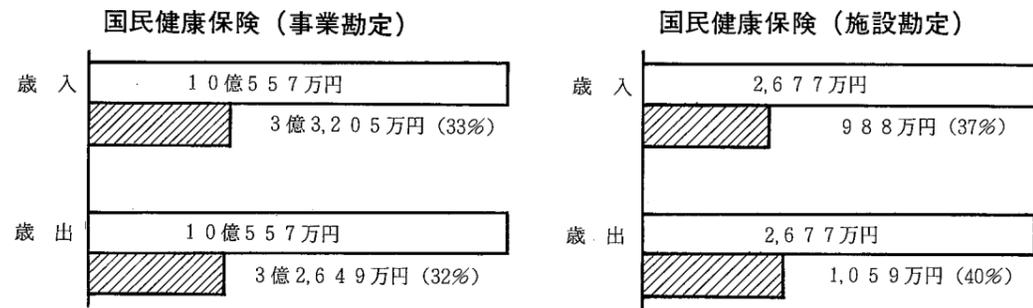
# 教育・福祉・環境

## 昭和54年度財政公表

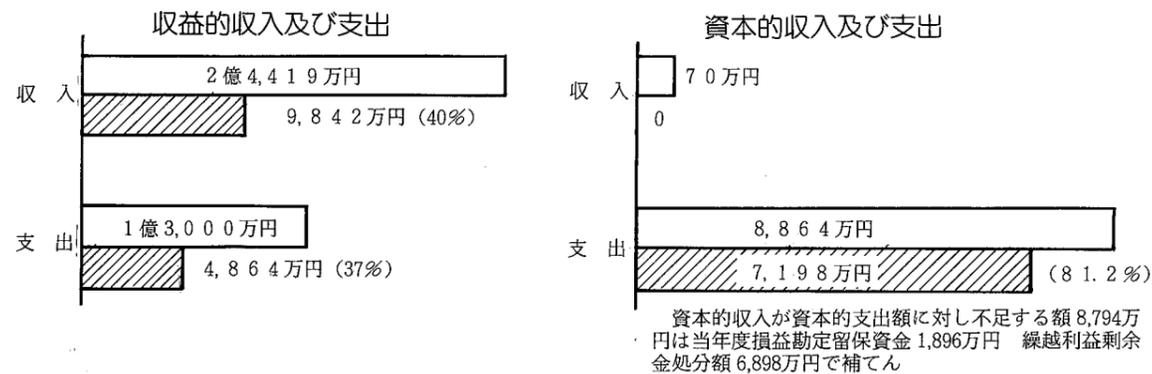


・・・一般会計予算歳入の状況・・・

### 特別会計

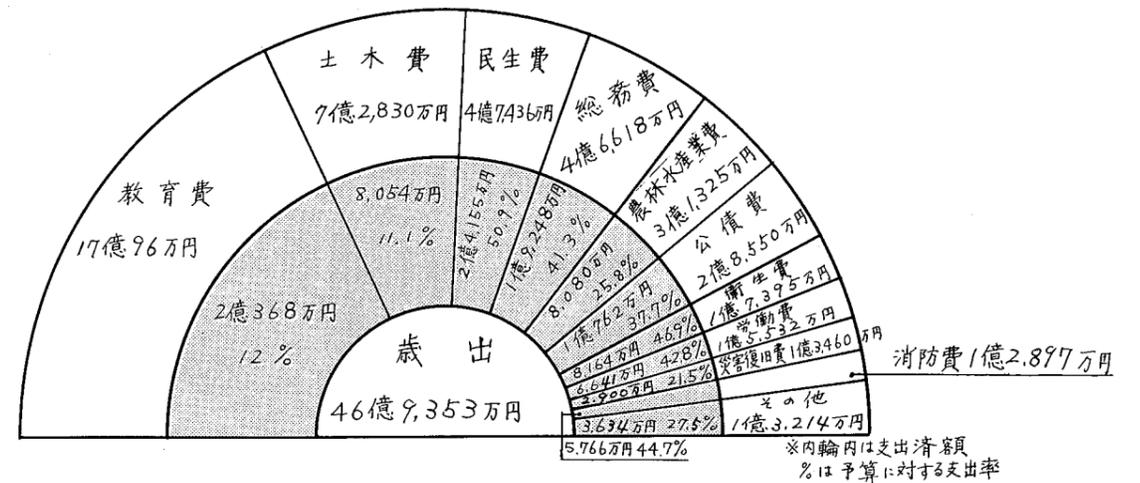


### 水道事業会計



# 整備を重点に

## (上半期4月～9月)



・・・一般会計予算歳出の状況・・・

### 町有財産 (昭和53年度末現在高)

#### 土地

建物敷地	563,983 m <sup>2</sup>
山林	10,181,256 m <sup>2</sup>
その他	578,734 m <sup>2</sup>

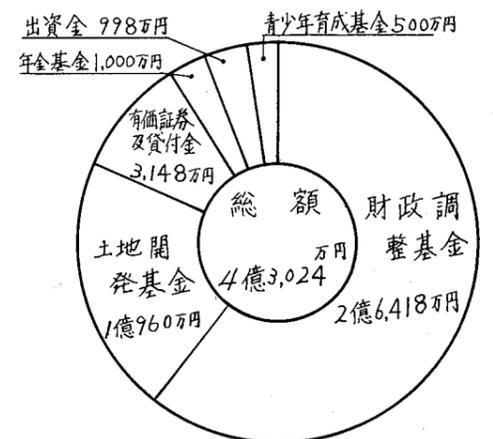
#### 建物

庁舎等	4,468 m <sup>2</sup>
学校等公共財産	48,867 m <sup>2</sup>
その他	1,207 m <sup>2</sup>

#### 物品

普通貨物自動車	2台
小型貨物自動車	21台
スクールバス	1台
普通自動車	1台
特殊自動車	5台
消防ポンプ自動車	8台
消防用積込車	6台
小型動力ポンプ	18台
マイクロバス	3台
軽乗用車	2台
軽貨物自動車	2台

#### 現金有価証券など

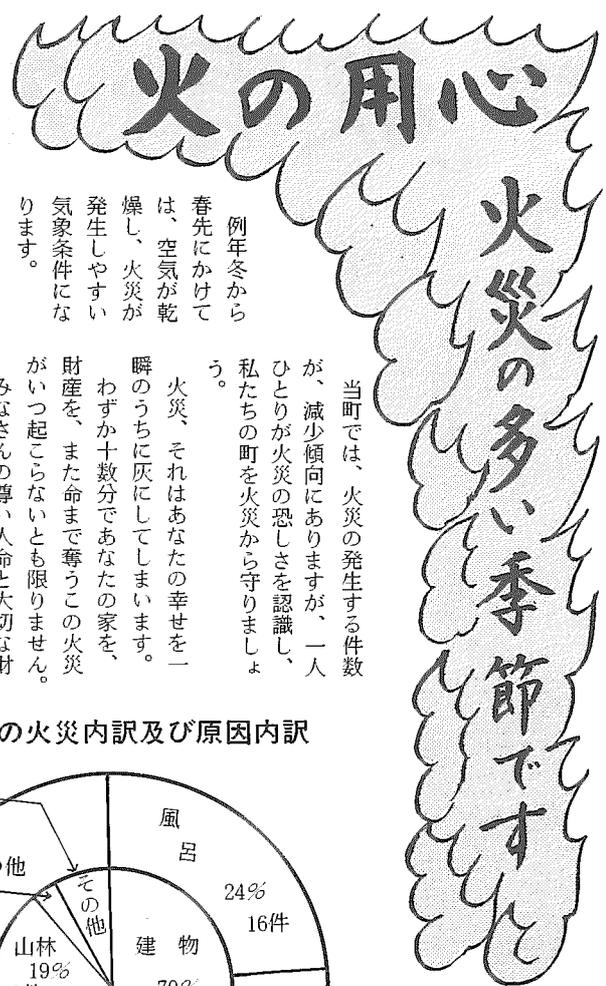




火事現場へ！

昭和五十三年中の火災状況は、全国で七分二十八秒ごとに火災が発生し、毎日二八・九人が死傷、三億五千八百万円の財産が灰となっている状況の中で、当町では、昭和五十年から五カ年間に六十七件発生し、損害額にして六千二百十六万円にものぼる額となっています。

その発生件数の約七

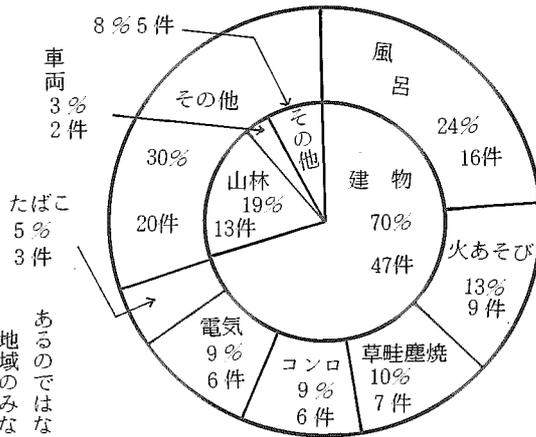


例年冬から春先にかけては、空気が乾燥し、火災が発生しやすい気象条件になります。

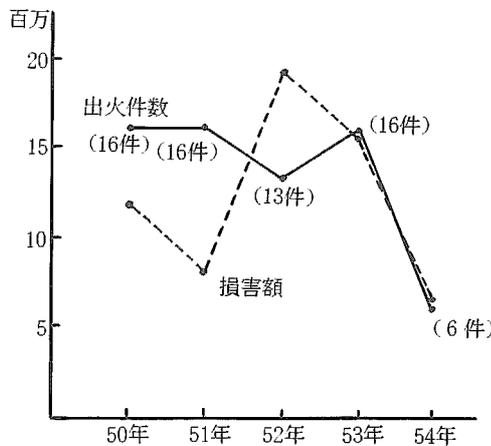
当町では、火災の発生する件数が、減少傾向にあります。一人ひとりが火災の恐しさを認識し、私たちの町を火災から守りましょう。

火災、それはあなたの幸せを瞬間のうちに灰にしてしまいます。わずかに十数分であなただけの家を、財産を、また命まで奪うこの火災がいつ起こらないとも限りません。みなさんの尊い人命と大切な財産を火災から守るために、消防団員のかたがたが日夜防火活動、訓練を重ねております。

5カ年間の火災内訳及び原因内訳



5カ年間の損害額及び出火件数の推移



損害額

(単位：万円)

50年	1,227
51年	795
52年	1,948
53年	1,605
54年	641
計	6,216

自分たちの地域

自分たちで守る

各種の災害に対処するために、より安全な地域社会を作る必要がある。

○パーセントが火気の取扱いの不注意や不始末などによる失火で初期消火の大切さかうかがえます。

あるのではないのでしょうか。地域のみならず、自分たちの地域は、自分たちで守る」という連帯意識が地域ぐるみの自主防災につながるのではないのでしょうか。

平素から地域の状況や家族の避難場所等を十分に話しあっておき「いざ」という時にあわてないで適切な処置を行なしましょう。

また、家庭では初期消火に必要な消火器・ホース等は備えて大切な財産を守りましょう。



地域ぐるみで (西之妻部落)

# 寒風をつく七色の虹

## 消防出初式

年頭を飾る消防出初式が、一月八日町中央公民館広場で勇壮活発に行われました。

式典の前に園分自衛隊音楽隊の吹奏する行進曲に合わせ町消防団、一三分団、団員二〇九人が赤色回転灯を点灯する消防車に続き各分団ごとにめぬき通りを規律正しく行進し、道行く人達の拍手につつまれました。

町中央公民館広場では、恒例になった消防山初式の式典が行われ、日頃訓練されたきびきびした行動が観



孤をえがく放水演習

客の目をひいていました。出初式のハイライトである放水演習では

園分自衛隊の音楽隊の奏でるトランペットの音に合わせ一斉に寒風のそそる冬空に七色の虹の弧をえがき放水がなされました。

この出初式で表彰されたかたがたは次のとおりです。

(一)は各分団名です。

日本消防協会会長表彰

永年勤続章(三十年)

竹内竹一・川俣満夫(下名) 川畑勝男・精松清一(米山) 萩原鉄雄(平松) 中原政利(船津)

県消防協会総裁表彰

功績章

春山国治(脇元) 川俣満夫・小川良清・榎田茂(下名) 児玉虎男・横山英人・大重幸男・向江正秀(上名) 下宮路文男(三又)

精績章

川辺秀雄(船津) 上野繁・堂園一雄・鶴留馨(三又) 野村重彦(松原) 上野政春(米山) 堂前利光(上名)

上名)

永年勤続章(三十年)

竹内竹一・川俣満夫(下名) 川畑勝男・精松清一(米山) 萩原鉄雄(平松) 中原政利(船津)

永年勤続章(二十年)

川辺秀雄(船津) 上野繁・堂園一雄・鶴留馨(三又) 野村重彦(松原) 上野政春(米山) 堂前利光(上名) 山口照男(北山)

永年勤続章(十年)

下園君敏・新村幸男(木津志) 池田明生・宇都克己(北山) 清藤良徳・東郷一利(船津) 鯉坂篤雄(上名) 丸尾實秋(下名) 森隆(脇元)

始良・伊佐支部消防協会支部長表彰

雨乞信・黒江英博(本部) 福留光春(船津) 徳田幸男(建昌) 町長・団長表彰

優良団員

小山峯男・池山史郎・今村一正・西別府次男・徳重謙二(本部) 篠原芳秋・村山久光・下柿元鉄男(脇元) 中間伸一・野村省一・村岡廣志・篠原澄夫(松原) 小川清香・坂口俊信(北山)

永年勤続表彰(二十五年)

長坪 光雄・スミエ(上名)

新名 辰己・エミ子(三又)

地福 カ・ユリ(米山)

本山 久夫・アヤ子(米山)

退団者表彰

大重幸男・児玉虎雄(元上名)

上野政春(元米山)

優良分団表彰

松原分団

## 年間三万四千円も得

### 資源の有効利用を



一般家庭で、エネルギーを節約することを考えてみましょう。

次の一五項目について節約されると二世帯で年間に約三万四千円も節約できます。金額は一世帯当り年間節約金額です。

① 一般家庭で、エネルギーを節約することを考えてみましょう。

② 次の一五項目について節約されると二世帯で年間に約三万四千円も節約できます。金額は一世帯当り年間節約金額です。

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

① テレビの視聴時間を一日に一時

② ルームエアコンの使用時間を冷房期間中、一日に一時間短縮する。

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮

④ 冷蔵庫に温度のムラができないよう詰め込み過ぎを避ける。

⑤ 洗たく機を使用する時、すすぎの前に脱水をする。

⑥ 電気コタツの下にカーペットなどを敷き熱のロスを防ぐ。

⑦ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

⑧ 暖房温度を一度下げる。

⑨ 灯油FF暖房器を灯油ストーブに替える。

⑩ 住宅の屋根の部分に厚さ五〇ミリメートルの断熱材を入れる。

⑪ マイカーに関する節約

⑫ 高速道路での走行を時速百キロメートルから八〇キロメートルに下げる。

⑬ 生活習慣の工夫による節約

⑭ 連続入浴のすすめ(週に一度家族そろって連続的に入浴する)

⑮ 夏(七月、九月)にはシャワーを隔日に利用する。

⑯ 帰宅時間を早くする。(家族一緒の食事回数が週一回ふえる。

⑰ 以上の一五項目を生活の合理化に結びつけ資源の有効利用を行います。

⑱ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

⑲ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

⑳ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

㉑ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

㉒ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

㉓ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

㉔ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

㉕ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

㉖ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

㉗ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

㉘ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

㉙ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

㉚ 湯わかし器のタネ火のつけ放し

# 399人が巣立つ

## いつまでも燃えつづける

### “成人の火”

一月三日町中央公民館大ホールでは、昭和五十五年の成人式が厳粛な中で盛大に行われました。

洋服での成人式も四年目を迎える華やかさこそないが、みな活動しやすい洋服での参加が定着しお互いに友情を温めあっていました。

今年成人を迎え晴れて大人の仲間入りをはたしたかたは、男一八〇人・女子二一九人で合計三九九人でした。

式はキャンドル式典で行われ、周囲を照らしながら、庄村幸輝さんの右手にしっかりと握られた「成人の火」の入場で式典が始まりました、新成人に見守られ岩根町長の手に渡されました。

さらに静かに燃えていた「成人の火」は新成人代表の久保山透さん、大保一敏さん、庄村幸輝さんの三人に分火され、新成人全員のもつロソクにと、輪は大きく広がりに、青春の心の灯びとしました。

原田正一さんが「社会の中堅となり、健全なる身体と豊かな市民性の高揚に努めます」と力強く宣誓し、小川内良人さんに新たな自

覚のもとで社会人として研修に努められるよう成人章が、また、成人式の記念として町花のサザンカを前原はるみさんに岩根町長から贈られました。

お祝いの言葉で岩根町長は「人生は平たん地だけではありません。日の光が強くなれば当る程影も強くなります、一人ひとり手にされた『成人の火』を思い出し、影にいる人たちを暖かく迎える豊富な知識と精神力を持つ社会人となってほしい」と励げました。



広がれ“成人の火”

成人となった思い出として、押領寺典子さん、西野勝己さん、磯山知子さんの三人が成人の抱負や心構えを主張しました。  
最後に新成人全員が起立し、鳥居順子さんが「これから立派な社会人として巣立っていきます。今後也十分なご指導をお願いします」とお礼の言葉がありました。  
身をすりへらしつづあたりを明るく、暖かく照らし続けた「成人の火」も静かな送り火となり式典を終りました。

## 二十歳のみなさん

### 国民年金に加入しよう

二十歳のみなさん、成人おめでとう。今日から、晴れておとなの仲間入り……あなたは、一人の社会人として新しいスタートを切ったのです。

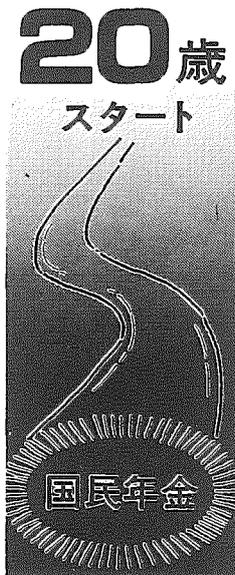
選挙権を行使できるほか、財産上の取引も自分の意思でできるなど法律上、一人前のおとなとしての扱いを受けると同時に、国民年金にも加入できるようになります。

いま成人式を迎えたばかりのあなたにとって、老後の生活……年金などといっても、まだまだ遠い先の話と思われるかもしれませんが、人間だれも年をとりませ

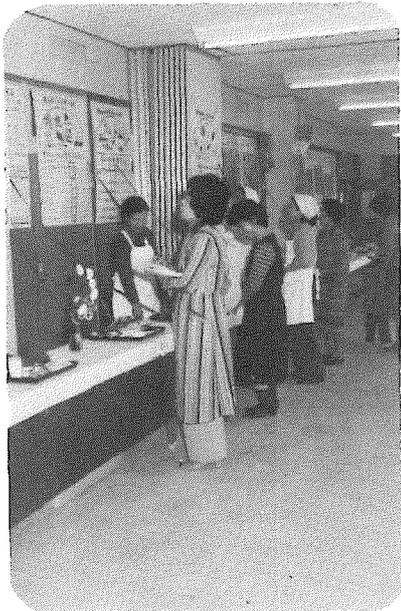
## 一 運動 一 成人病予防の“妙薬”

成人病は、典型的な「現代病」の一つといわれます。職場と家庭の両面で機械文明の恩恵に俗し、便利な生活を送っているわたしたち現代人がかかる病気……それが成人病  
そして、その正体が、カロリーのとり過ぎと運動不足なのです。  
成人病が一方で「運動不足病」などといわれるのもそのためで、中高年者にとって運動は健康を保持する上で大きなカギをにぎっています。  
あなたも成人病予防のため自分に適した運動を行いましょう。

考えておくのが賢明です。そのためにも、二十歳になった機会に国民年金に加入しましょう。  
自営業や自由業の人あるいは家事手伝いの人などは、必ず国民年金に加入しなければなりません。  
屋間部の学生さんや他の公的年金制度に加入しているサラリーマンなどの奥さんは、希望すれば加入できます。なお、厚生年金制度など職場で加入する他の公的年金に入っている人は、国民年金には加入できません。  
国民年金で老後をより豊かなものに……保険料は一月三千三百円（四月から三千七百七十円）です。



# 健康は栄養バランス 遠ざかるふるさとの味と香り



熱心にメモ

料理、小正月料理」等が会場一杯に展示され、ふるさとの香りがただよっていました。

「ふるさとの味と香りをみなおそう」をスロ一ガンに、十二月一日町中央公民館で栄養展が開かれました。県下ではじめての栄養展とあって隣接町の特産品の即売やパランスのとれた食事例、年齢に応じた発育期の栄養、こどもたちのおやつ、昔なつかしい「さのばい料理、ほぞ祭料理、盆料理、小正月料理」等が会場一杯に展示され、ふるさとの香りがただよっていました。

つめかけた人たちは、普段のこんだ料理等から遠ざかり、展示された一つひとつの料理例にうなづいていました。

また、おやつコーナーでは、こどもから催足されるおかあさんたちもみられ、手作りのおやつのお味がうかがわれました。

日頃、インスタント食品になじみ、手のこんだ料理から遠ざかりすぎみなわたしたちにとって、展示された一つひとつの料理は、大変食欲をさそわれ、見物の人たちのうなづく姿があちこちにみられました。

今一度「ふるさとの味と香り」をみなおし、食事をかこんだ栄養談議も必要ではないでしょうか。身近かな山菜料理等で十分な栄養をとり健康な家庭生活を過しましょう。



討論風景

農村の生活向上は？、豊かな村

## お互いのなやみ分かつ 地域農業に励むグループ

づくりは？、など数多くの問題をかかえる地域農業、組織活動の充実がさげばれています。

このような情勢を背に始良郡西部の加治木町、蒲生町、溝辺町、始良町の四ヶ町の農業関係者が一堂に集まり情報の交換等を行ない組織づくりに努めました。

この集いは、十一月十三日町勤労者体育センターで一五〇人もの同志が集まり分科会、全体会が行なわれ、個別経営者、グループ経営者のかたがたが日頃自分達の経営をとりまく問題点を互いに検討し研究しました。

参加した人たちは、お互いに経

営形態こそは違っても農業をとりまくなやみはみな同じようなもので意気投合していました。

豊かなくらしと、村づくりをすすめるために、参加者を五分科会に分け、研究、討論がなされました。その中でも資材・農業・肥料流通・労働力等が支柱であり、最近の農作業が主婦化し家事、育児等に時間をとられ部落伝行事、婦人会等の話し合いの場に出席する機会が少なくて人の和がくずれつつある等現実問題が真剣に討議されました。

農村をとりまく環境整備でも、公共の広場、外灯、住宅等の建設が進み、農地への波紋がさげばれました。

生産と流通問題、指導員と技術開発、作物選定等にも力を注いで豊かな村づくりを誓いました。

## 人権擁護委員に 谷口純男さん



人口等の増加に伴い、本町の人権擁護委員も十月一日付で新たに法務大臣から一人増員されこのたび委嘱さ

れました。

委嘱されたかたは、森部落の谷口純男さん(68歳)です。

今回の委嘱により、本町の人権擁護委員は四人となり、みなさんの人権擁護にあたられます。

他人の人権を尊重し、自分の人権をその侵害から守るための指導と、その相談・人権侵害事件の調査・貧困者の訴訟について

の費用のあつせん等のほか国民が憲法で保障されている基本的人権が侵害されないように監視し、侵害行為があった場合は

その侵害の排除救済の相談にあたります。

人権擁護委員として活躍されるかたがたは次のとおりです。

始良町西餅田五九六〜三番地  
谷口 純男さん(森部落)

始良町上名二九〇四番地  
山崎 正成さん(板ノ口部落)

始良町三拾町一二七一番地  
山路 澄さん(上麓部落)

始良町脇元四〇九番地  
脇岡 兼慶さん(白金原部落)

◎本町の人権相談は毎月第二土曜日に町役場本庁で行われます

# タバコは 町の貴重な財源



## ハイライト1個で25円

あなたは、「たばこ一個」が町の貴重な財源であることをご存知でしょうか。

たばこ屋さんでハイライト一個（百二十円）をお買いになると、二十四円八十二銭の「たばこ消費税」が専売公社から、たばこ屋のある市や町に納入されることとなります。

町民のみならず、町に納めていらっしゃる税金は、納税告知書を町長が発行し、役場に持って来て納めていただいている税金と、物の料金や代金の中に含まれていて、知らず知らずのうちに、たくさん税金を納めていらっしゃる税金とがあるわけですね。

この、物や代金の中に含まれているものに「たばこ消費税や電気税等」があります。

毎日、ハイライト一個（二〇本入り）喫煙されるかたは、年



うちに、たくさん税金を納めていらっしゃる税金とがあるわけですね。

この、物や代金の中に含まれているものに「たばこ消費税や電気税等」があります。

毎日、ハイライト一個（二〇本入り）喫煙されるかたは、年

間には九千五百九十九円も税金を納めていらっしゃるものになります。

昭和五十三年度には、この税金がつもりもって、七千七百八十九円もの税金が専売公社から町の収入として納入されました。

しかし、本町は郡内の他の町

に比べれば非常に少ない額が納入されていることがおわかりと思います。このことは、本町の住民のかたが鹿児島市や、他の町に通勤されておられるのも原因の一つといえます。

決して「たばこ」をどんどん吸ってくださいと申しませんが、ぜひとも「たばこ」をお買いいなるときは、町内のたばこ屋さんで買っていただいで、みなさんの税金がみなさんがおられる町に納まるようお願いいたします。

町名	昭和54年1月1日現在	53年度税額	人口1人当り月間納付額
始良町	29,894人	70,780,300円	197円
加治木町	21,971人	59,207,680円	225円
隼人町	27,433人	75,382,980円	229円
溝辺町	7,265人	32,025,330円	367円
牧園町	11,735人	38,715,580円	275円
郡計	175,528人	490,520,390円	232円

## 念願かない渡り初め

### 板ノ口橋完成

上名地区民の強い要望であった板ノ口橋が、町単事業として昭和五十三年度に着工し、二か年継続事業でこのほど完成しました。

この板ノ口橋は、県道蒲生ノ有川線に接続する橋であり、それだけに地区民のようごびもひとしおでした。

渡り初め式は、岩根町長・森川町議会議長の手でテープカットが行われ、地元元老小倉喜之助さん（八八歳）、妻エイさん（七七歳）ら親子三代を先頭に地区民総出の渡り初めで祝いました。

橋の延長は十四メートル・幅員二・五メートル、総額六百八十九万円で完成しました。



部落民ごぞつでの渡り初め

## 広報からのお知らせ

▽係では、よい広報紙を作るために、皆さんからのご意見、ご要望をお待ちしています。

▽また、自分の知っていることで、町民に知らせたい事などありましたら、お知らせください。

# ハッキリと映像が

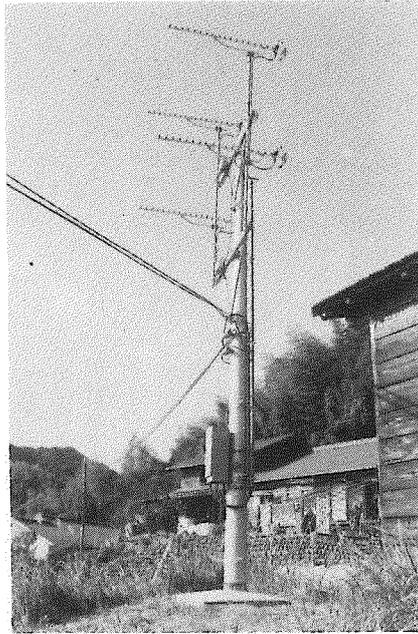
## NHKの協力で共同受信施設完成

「ワァーイ！テレビの映像がよく見える」地域の人たちが声をはずませて答える姿はさわやかなものです。ここは、四方を山で囲まれた上名地域です。

昭和五十四年度から国が補助事業として、全国のテレビジョン難視聴解消事業をとりあげ、地山間部の難視聴地域を選定し事業を行っているものです。

NHKの協力のもとで、町合せて一千百三十九万七千円の補助事業の一環として、今回上名地区を指定しテレビジョン共同受信施設を十二月十三日板ノ口部落に設置し完成したものです。

今まで難視聴であった一二二戸は、この共同受信施設の完成で以前よりもハッキリと映像がうつり、楽しい笑い声が後を断ちません。



完成したアンテナ

# 110番は落ち着いて 順序よく簡潔に



(次の要領で)

- ① 何があったか(泥棒、ひき逃げ、交通事故など)
- ② いつあったか(たった今、何分ほど前に)
- ③ どこであったか(近くのわかりやすい目標)
- ④ どんな状況か(けが人がいる、車で逃げた)
- ⑤ 犯人の人相や特徴、車のナンバーなど
- ⑥ あなたの住所、氏名、電話番号

# 地域社会で大きな輪

## 村づくり講演会で力説

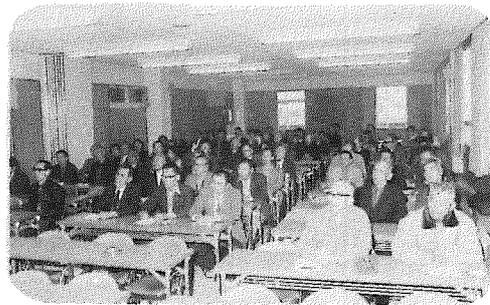
「ひざを寄せ、知恵を出し合う一言が明日の村を興すカギ」を町目標として、農村振興運動が展開されています。

十二月二十一日

町中央公民館で、

村づくり講演会が盛大に行われました。

この講演会は、農村社会のあり方と題して県文化協



聴きいる参加者たち

会の新納教義先生の講演が行われ

ました。地域住民自からの運動として、地域の村づくり、人づくりを行なおうとするものです。

集まった農業者生産組織・婦人会員、農政推進員のかたがたを対象に農村社会の姿を力説されました。その中で、地域社会の中心は地域住民であり行政の小さな火は地域住民の協力がなければ大きな輪はできない。風呂の水はマッチの火では湧かない。などを講演し、「みんなの手、みんなの音が作る村」を実現させようと参加者の拍手を浴びました。

セールスマンが家庭や職場などを訪問したり路上で現物やパンフレット類を見せて勧誘し指定商品販売する方法が多くなり、トラブルも発生しておりますので商品購入については十分注意してください。

# 訪問販売に対する心得

① 販売業者の名前などの明示

販売業者は、訪問販売を行おうとするときは、販売業者の名前と販売しようとする商品を消費者に告げることになっています。

② 書面の交付

販売業者は、消費者から商品購入の申込みを受けたときや販売し

たときに、販売条件などの内容を明らかにした書面を消費者に交付することになっています。

⑦ 現金販売以外の場合に交付する書面の明示事項

- ・ 販売価格
- ・ 代金の支払い時期と方法

・ 商品の引き渡し時期

・ 販売業者の名前と住所  
・ 申し込みを受けた(契約を締結した)年月日

・ 商品名、商標または製造者名形式または種類と数量  
・ 商品に隠れた欠陥がある場合に、販売業者に責任について

⑧ 家庭訪問販売以外の現金販売

については、販売業者は消費者に対して書面を渡す義務はありません。

※訪問販売や消費者の苦情相談がありますら町役場経済課商工水産係へお知らせください。



### 町では 介護人を 募集しています

町では、一時的な疾病等により日常生活を営むのに支障があるおむね六十五歳以上の低所得者（ひとり暮らしの老人等）の日常生活のお世話をする介護人を募集しています。

老人福祉に理解と熱意を有するかたはご協力をお願いします。

#### 介護人の仕事の内容

食事の世話・住居の掃除・身の回りの世話・生活必需品等の買物や医療機関等との連絡・その他必要な用務

#### 報酬

日額 三千円  
募集締切り日  
昭和五十五年二月十五日  
問合せ先  
福祉課老人福祉係

### 恩給法の一部

#### 改正について

昭和五十四年九月十四日法律五十四号で恩給法の一部が改正されました。主な改正内容は次のとおりです。

①現在六十五歳以上の恩給受給者については長期、短期にかかわらず長期在職者と同じの俸給表が適用されていますが、今回の改正で昭和五十四年六月一日から六十歳以上の受給者についても同様の改善がなされました。

②普通扶助料の最低保障制度の年齢等による七区分制が整理され、昭和五十四年十月一日から実在職年のみの三区分制（最短期給年限以上、九年以上、九年未満）に改め、六十歳の年齢制限がなくなりました。

③昭和二十年十一月三十日以前の旧軍人としての実在職年が十三年以上の旧海軍の特務士官や准士官であった方の仮定俸給が改善されました。

④六十歳以上六十五歳未満の旧軍人などの加算年が恩給年額の在職年に算入されることになりました  
但し①及び②については、裁定庁たる恩給局が自からの職務で改善措置を講ずることとしており手続きは必要としませんが、③及び④については、受給者の加算改定手続きが必要です。

### 老齢年金の 繰り上げ請求は慎重に

国民年金の老齢年金（通算老齢年金を含む）は、原則として六十五歳から支給されることになっていますが、本人が希望すれば、六十歳から六十四歳の間でも繰り上げて年金を受け取れることになっていきます。

しかし、その年金の額は、本来六十五歳から受ける額に比べて、表に示すように一〜四二%も減額され、生涯減額のまま年金を受け取ることになりま

すので、繰り上げ請求は慎重に行ってください。



よって希望する年（六十六〜七十歳）から年金を受け取ることになります。この繰り下げ申出の取り消しはいつでもできることになっていきます。

繰り上げの場合		65歳からは満額年金	繰り下げの場合	
希望する年齢	減額率		希望する年齢	増額率
60歳	△42%		66歳	+12%
61	△35		67	++26
62	△28		68	+++43
63	△20		69	++++64
64	△11		70	+++++88

(例) 25年掛けた場合  
60歳 470,700円 × 0.58 = 273,000円  
65歳 470,700円 満額  
70歳 470,700円 × 1.88 = 884,900円

### 一般篤志寄付

◎ 重富で伏見興業株式会社を営む野元信孝さんが町の世代を担う青少年育成のための奨学資金の一部として使ってほしいと町に三千万円寄付されました。

この寄付金は育英基金として積立て毎年その利子の運用により従

来の町の育英事業と合わせて町条例により運用することになっています。

関連記事として、三ページ議会記事をご覧ください。

◎ 鹿兒島市で湖脇木材を営む湖脇正俊さんが山間地の道路整備費等の一部として使ってほしいと町に五百万円寄付されました。

### スポーツ短信

小雨の降る十一月四日、町内一週駅伝大会が行なわれました。出場チーム九チームで、全長八区間二十一・三キロメートルで日頃鍛えた健脚を競い合いました。

- 優勝 三船チーム
  - 準優勝 始良町役場チーム
  - 三位 池田製菓チーム
  - オープン参加(三チーム)
  - 優勝 なかよしチーム
  - 準優勝 始良西部消防署チーム
  - 三位 山田チーム
- 1時間11分12秒  
1時間13分45秒  
1時間15分41秒  
1時間14分23秒